



アルゲリッチが 奏で継ぐ2日間

DAY 1 AKIKO'S PIANO

11/25(水)19時 すみだトリフォニーホール

Wednesday, November 25, 2026 at 7 p.m. Sumida Triphony Hall, Tokyo

シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 op.44

Schumann: Piano Quintet in E-flat major, op.44

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ) Martha Argerich, Piano

神尾真由子、荒井里桜(ヴァイオリン)

Mayuko Kamio, Rio Arai, Violin

笠井大暉(ヴィオラ) Hiroki Kasai, Viola

横坂源(チェロ) Gen Yokosaka, Cello

トーク「明子さんのピアノを奏で継ぐ」

藤倉大：明子の日記

Dai Fujikura: Akiko's Diary

酒井茜(明子さんのピアノ) Akane Sakai, Akiko's Piano

ドビュッシー：「小組曲」から

Debussy: Petite suite, Excerpt

マルタ・アルゲリッチ、酒井茜(明子さんのピアノ)

Martha Argerich, Akane Sakai, Akiko's Piano

メンデルスゾーン：

ピアノ三重奏曲第1番 二短調 op. 49から第2楽章

Mendelssohn: Piano Trio No. 1 in D minor, op. 49

II. Andante con moto tranquillo

マルタ・アルゲリッチ(明子さんのピアノ)

Martha Argerich, Akiko's Piano

神尾真由子(ヴァイオリン) Mayuko Kamio, Violin

横坂源(チェロ) Gen Yokosaka, Cello

ラフマニノフ：交響的舞曲 op. 45

Rachmaninov: Symphonic Dances op. 45

マルタ・アルゲリッチ、酒井茜(ピアノ)

Martha Argerich, Akane Sakai, Piano

S¥20,000 A¥16,000 B¥12,000

学生¥5,000 (*学生券はカジモト・イープラスのみの取り扱い/B席相当・当日引換)

主催：KAJIMOTO

共催：すみだトリフォニーホール(公益財団法人 墨田区文化振興財団)

後援：アルゼンチン共和国大使館 / スイス大使館

協力：一般社団法人HOPEプロジェクト / 桐朋学園大学

DAY 2 CHOPIN AND HIS ASIA

12/1(火)14時 サントリーホール

Tuesday, December 1, 2026 at 2 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ショパン：マズルカ 変イ長調 op.59-2

Chopin: Mazurka in A-flat major, op. 59 No. 2

幻想曲 へ短調 op. 49

Fantasy in F minor, op. 49

酒井茜(ピアノ) Akane Sakai, Piano

ショパン：バラード第1番 ト短調 op. 23

Chopin: Ballade No. 1 in G minor, op. 23

バラード第2番 へ長調 op. 38

Ballade No. 2 in F major, op. 38

イム・ドンヒョク(ピアノ) Dong-Hyek Lim, Piano

ショパン：ポロネーズ第7番 変イ長調 op. 61

「幻想ポロネーズ」

Chopin: Polonaise-Fantaisie in A-flat major, op. 61

五十嵐薫子(ピアノ) Kaoruko Igarashi, Piano

ジュンヒョン・リー：春の深刻な奇妙さについて(要約) ※世界初演

Joonghyun Lee:

on severe bizarrerie of spring (epitome) *World Premiere

五十嵐薫子(ピアノ) Kaoruko Igarashi, Piano

中瀬絢音：ガラスケースの蝶 ※世界初演

Ayane Nakase: Le papillon sous verre *World Premiere

イム・ドンヒョク(ピアノ) Dong-Hyek Lim, Piano

モーツァルト：2台のピアノのためのソナタ 二長調 K. 448

Mozart: Sonata for Two Pianos in D major, K. 448

五十嵐薫子、イム・ドンヒョク(ピアノ)

Kaoruko Igarashi, Dong-Hyek Lim, Piano

ラヴェル：ラ・ヴァルス Ravel: La Valse

マルタ・アルゲリッチ、五十嵐薫子(ピアノ)

Martha Argerich, Kaoruko Igarashi, Piano

シューベルト：幻想曲 へ短調 D940

Schubert: Fantasy in F minor, D940

マルタ・アルゲリッチ、イム・ドンヒョク(ピアノ)

Martha Argerich, Dong-Hyek Lim, Piano

ほか

S¥20,000 A¥16,000 B¥12,000

学生¥5,000 (*学生券はカジモト・イープラスのみの取り扱い/B席相当・当日引換)

主催：KAJIMOTO

助成：文化芸術活動基盤強化基金(クリエイター支援基金)

後援：アルゼンチン共和国大使館 / スイス大使館

協力：ルツェルン音楽祭アカデミー / KAWAI



かな アルゲリッチは奏で継ぐ

マルタ・アルゲリッチは2015年8月に広島で「明子さんのピアノ」に出会う。ピアノに触れた瞬間、彼女はこの被爆したピアノと、持ち主である河本明子さんとの間に親密な関係を感じ取り、それを“Water Memory”と表現した。

その後「明子さんのピアノ」を弾くたびに、アルゲリッチはそれ自身の表現力が向上していると感じている。それならばこのピアノが芸術品としてソロ以外の場にも登場できるのではないかな？

そうした考えから、室内楽やトークなどとともに、弾き慣れたすみだトリフォニーホールでこの試みに初めて挑戦する。（11/25「Akiko's Piano」）

アジアにおけるショパンの受容が顕著であることは、ショパン国際コンクールの参加ピアニスト数や、入賞者数が増加していることから明らかに推察できる。“Chopin and his Asia”はこの現象をコンクールと結びつけるのではなく、ショパンという作曲家をベースとして、アジアのピアニスト同士が共演することを実践する場となる。アルゲリッチはファシリテーターとして参加し、彼女とともに日韓のピアニストと作曲家は、ソロ——新作——デュオに対等な立場で参加する。この新作については文化庁のクリエイター支援基金の助成も受けている。

この“Chopin and his Asia”をアジア諸国に拡げて行きたい。今回はその先駆けとなる。（12/1「Chopin and his Asia」）

佐藤 正治 (KAJIMOTOプロジェクト・アドバイザー)

マルタ・アルゲリッチ(ピアノ) Martha Argerich, *Piano*



©Janusz Marynowski

5歳からピアノを学び、8歳でモーツァルトとベートーヴェンの協奏曲を弾いてデビュー。24歳でショパン国際ピアノ・コンクール優勝以来、実力・人気ともに世界を代表するピアニストのひとり。アバド、デュトワ、小澤征爾、クレメール、マイスキー、フレイレらと数々の名演を重ねる。1998年から「別府アルゲリッチ音楽祭」総監督を務め、その後ブエノスアイレス、ルガーノ、ハンブルクへと彼女の名を冠した音楽祭が広がっている。広島交響楽団の平和音楽大使も務めている。

神尾真由子(ヴァイオリン) Mayuko Kamio, *Violin*



©Makoto Kamiya

2007年、チャイコフスキー国際コンクール優勝。第13回出光音楽賞、文化庁長官表彰を受賞。国内外の主要オーケストラとの共演も数多い。BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」における『マユコ先生のヴァイオリン・レッスン!』は人気を博している。東京音楽大学教授。使用楽器は宗次コレクションより貸与のストラディヴァリウス1731年製「Rubinoff」。

酒井茜(ピアノ) Akane Sakai, *Piano*



©Andrej Golic

桐朋学園大学で学び、ベルギーに渡る。モグレフスキー、ジルベルシュタインらに師事。クレメラータ・バルティカやハンブルク響と共演するほか、アルゲリッチやギトリスらと室内楽を演奏し、ラ・フォル・ジュルネやルガーノ音楽祭などに参加。2018年からはハンブルクのアルゲリッチ・フェスティバルのアーティストック・プランナーを務めている。録音も多い。

荒井里桜(ヴァイオリン) Rio Arai, *Violin*



©AMUSE Photo Takahiro Sakai

東京藝術大学音楽学部を首席で卒業後、ローザンヌ高等音楽院を卒業。東京音楽コンクール、日本音楽コンクール第1位、ハチャトゥリヤン国際コンクール第3位。現在、ソリストや室内楽奏者として幅広く活動し、ブリュッセルでデュメイに師事。使用楽器は(株)日本ヴァイオリンより貸与の1780年製「J.Gagliano」。

イム・ドンヒョク(ピアノ) Dong-Hyek Lim, *Piano*



©Sangwook Lee

韓国国立音楽院を経て、モスクワやハノーファーで学んだのち、ジュリアード音楽院でアックスに師事。2001年ロン＝ティボー国際コンクール優勝。2005年にはショパン国際コンクール3位。デュトワやマズア、ロバートソンらの指揮者、ボストン響、フランス国立管、N響などと共演し、ヴェルビエやアルゲリッチ音楽祭に出演している。アルゲリッチと共演したCDもリリース。

笠井大暉(ヴィオラ) Hiroki Kasai, *Viola*



©井村重人

ブラームス国際コンクール優勝。東京国際ヴィオラ・コンクール第2位および聴衆賞を受賞。英国王立音楽院、ソフィア王妃高等音楽院で学ぶ。ソリストとして東京フィルなど、室内楽では五嶋みどり、内田光子らと共演。マールボロやヴェルビエなどの国際音楽祭に出演。2024、25年度ロームミュージックファンデーション奨学生。

五十嵐薫子(ピアノ) Kaoruko Igarashi, *Piano*



©Herbie Yamaguchi

桐朋学園大学及び大学院卒業。2022年、ジュネーヴ国際コンクールで第3位およびRose Marie Huguenin Prizeを受賞。都響、東京フィル、関西フィル、群馬響、アンサンブル金沢、広島響、KBS響などと共演。徳永二男、ワディム・レーピン、工藤重典の各氏と共演するなど、室内楽にも精力的に取り組んでいる。

横坂源(チェロ) Gen Yokosaka, *Cello*



©Sotaro Goto

新潟県出身。桐朋学園女子高等学校、同ソリスト・ディプロマコースを経て、シュトゥットガルトとフライブルクの州立音楽大学で研鑽を積む。2010年にミュンヘン国際音楽コンクール第2位。現在、名古屋音楽大学客員講師。使用楽器は、高橋亮太郎氏所有の1790年製William Forster Sr., London。今、最も幅広い演奏活動を展開するチェリストの一人である。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます。

“kajimotomusic”で検索!

@kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 334-425)
e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

トリフォニーホールチケットセンター [11/25]
03-5608-1212 (10:00~18:00 / 店頭は11:00~)
<https://www.triphony.com/ticket/web.php>

サントリーホールチケットセンター [12/1]
0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00~18:00 ※休館日は休業)

カジモト・イープラス



一般発売:
9/13(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 9/3(木) 12:00~6(日) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713 [10:00~18:00 (初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
●ご来場の皆様に安心して聴きただけですよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 ticket@kajimotomusic.com <https://www.kajimotomusic.com/>